

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ディグ・スマイル前橋西教室		公表日 2026年10月1日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	3	落ち着いて過ごせるように未就学児用の教材を多数ご用意しています。	就学児と一緒になので利用人数によって、衝突のリスクがあります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		急遽職員数が足りない場合は、シフトの調整やご利用の変更等声掛けをしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		スロープや手すりを設置し車椅子のお子さまにも対応可能となっています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	7	1	毎日教室内の清掃業務を行っています。送迎車内も適宜清掃を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		お子さまが感情的になった際のクールダウンや、体調不良での静養する場所など、状況に応じて個室対応が可能となっています。	部屋数が多くないため、同時に個室が必要になった際は対応が難しいです。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		朝礼・終礼にて行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		事業所評価表を基に会議を行い、改善に努めます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		意見を出しやすい職場作りに努めています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3		外部評価はおこなっていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		定期的な社内研修を行っています	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		5領域に即したプログラムを作成し、毎月カレンダーを配布し公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		ご利用の際にはお子さまの様子を観察し、保護者様のニーズを丁寧に聞き取り、支援計画を作成いたします。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		個別支援計画検討会議で指導員と共に考案しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		検討会や日々の朝礼終礼にて共有しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		日々の支援の中で観察し、気づいたことを共有しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		個別支援計画書に記載し、必要に応じて対応しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		曜日ごとの担当制を採用しており、職員全員がそれぞれ立案できるように工夫しています。また、個人が立案したものをチーム内で検討しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		お子さまの特性に合わせてプログラムを変更し、同じプログラムでも低学年と高学年でレベル分けを行い、全てのお子さまが無理なく参加できるよう心掛けています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		基本的には集団支援を行っていますが、個別支援が必要なお子さまには適宜、個別の対応を行っています。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		朝礼で当日のプログラムやお子さまの近況の確認、要支援のお子さまを誰が対応するか等、共有しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		終礼で当日の連絡事項や支援の内容、お子さまの様子など共有を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		個人個人の活動記録を毎日作成しています。専用ソフト内に記録しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		全児童を対象に、6カ月以内にモニタリングし、計画の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	3		現状はあまり機会が有りませんが、必要に応じて対応していきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園等)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	3		現状はあまり機会が有りませんが、必要に応じて対応していきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	2		現状はあまり機会が有りませんが、必要に応じて対応していきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	4		現状はあまり機会が有りませんが、必要に応じて対応していきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	5		定期的に児童館の利用はしていますが、放課後児童クラブとの交流は現在機会がありません。随時検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		送迎時の申し送りで一日のフィードバックを行っています。社内ソフトの連絡帳機能を使って連絡を取っているご家庭もあります。	
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	定期的に情報共有の面談を開催しています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時に説明を行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		児童発達支援管理責任者がアセスメントを行っています。保護者様のニーズを中心に計画を作成し、こちらからのご提案も織り交ぜながら取り組んでおります。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		計画作成時に説明させていただきます。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		上記の定期面談に加え、送迎時のFBの際に、情報共有・相談・支援の助言をさせていただくことがございます。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだいで交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5		保護者会の実施は行っていないため、施設と保護者様との関係強化の機会が設けていけるのであれば実施していきたいです。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			ご相談ごとに関しては、いつでも受け入れ態勢を整えています。必要に応じて面談も実施させていただいてます。

保護者への説明等	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		当月の活動内容と翌月の活動予定カレンダーを毎月配布しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		適宜ファイリングし、鍵付きキャビネットに保管しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		意思疎通が極めて困難なお子様は、現状ご利用がありませんが、適宜状況に応じて、写真や絵カード等の視覚情報を多めに対応していきます。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4		現状、地域への対応は行っていません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		マニュアルを作成し、職員全員に周知しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		水害、地震、火災等、それぞれの災害を想定して避難訓練を定期的に実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		契約時と、服薬変更時等に保護者様から情報共有していただき、職員間でも共有しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2		医師の診断書が必要なお子様は現状ご利用ありませんが、必要に応じて対応してまいります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		職員閲覧ファイルに保管し、いつでも確認できるようにしています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		利用者閲覧ファイルに格納し、確認できるようにしています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		発生時には朝礼・終礼時に教室内で共有し、再発防止案を考え、必要に応じて教室のレイアウト変更等も行っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		社内の虐待防止委員会主体で社内研修を行っています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		社内の身体拘束適正化委員会主体で社内研修を行っています。	